

■放課後・夏休みにやりたいことは？

	やりたいこと	回答数	回答例
1	サッカー	86	
2	ドッジボール	65	
3	鬼ごっこ	50	氷おに、増えおに
4	縄跳び	40	二重跳び
5	なし	34	ない、わからない
6	ゲーム	30	3DS、妖怪ウォッチ
6	工作	30	粘土、プラモデル、糸電話
6	遊び	30	思い切り遊びたい
9	外遊び	29	ボール遊び、逃走中
10	絵画	27	お絵かき、塗り絵

「回答は自由記述。放課後NPOア
フタースクールが分類して集計」

つ同法人は都内と神奈川県の九つの小学校で放課後に児童を預

放課後・夏休み 何やりたい？

NPOが全国調査

小学生の放課後活動を支援するNPO法人「放課後NPOアフタースクール」(港区)は、全国の児童約1千人に聞いたアンケート「放課後・夏休みにやりたいこと」の結果を公表した。サッカーなど屋外での遊びが上位を占める一方、「なし」も目立った。

児童屋外の遊びが人気

かり、様々な体験プログラムを実施する「アフタースクール」を開いている。

アンケートは昨年6月〜今年5月に実施。会員児童のほか、学童保育や児童館など全国30カ所で放課後活動のノウハウを教えた際にも記入してもらった。計1029人が回答し、小学1〜3年生が77%、4〜6年生が23%。男女比は男子48%、女子52%だった。

最も多かったのはサッカーで86人。次いでドッジボールが65人、鬼ごっこが50人、縄跳びが40人で、4位までを屋外での遊びが占めた。野球は16人で15位にとどまった。一方、5位は「やりたいことがない」で34人。「ゲーム」は30人で6位だった。

同法人の佐藤香里さん(27)は「放課後の危険性が心配され、思う存分、外で遊べない環境が上位の結果につながっているのでは」と分析。「やりたいことがない」の回答の多さには驚いたと話し、「塾や習い事で忙しく、『今日は何して遊ぼう』と考える機会が少ないことの現れではないか」。今回の結果を「アフタースクール」のプログラム作りを生かしていくという。

1位はサッカー ■「なし」も多く5位、ゲーム6位